



○力強い言葉や差し伸べられた手が力になる～支え、待つこと～

雄武町立沢木小学校長 千葉 勝志

人間は社会的存在です。どんなに偉い人でも、一人では生きていけません。「自分は誰にも頼らず、自立して生きている。」などと言う人がいたら、それはとんでもなく傲慢です。人間はたった一人では、食べる米をつくることも、まとう布を織ることもできません。「人」という文字は、二人の人間が支え合う形をしています。そして、多くの人が複雑にからみあった集団を社会といいます。学校はその社会の縮図といえましょう。子どもたちはこの先、どんな困難と遭遇するか、それは誰にもわかりません。だからこそ、学校は子どもたちにどんな困難にも立ち向かい、乗り越えられる力の素地を育まなければなりません。しかし、人は一人では生きていけないのです。どんな時も、自分を支えてくれる保護者や教師、友だちがいれば、子どもはきっと安心し、自立した大人へと成長することでしょう。保護者や教師は、子どもを支える最大のサポーターといえるのです。そして、支えてくれる友だちは、かけがえのない仲間です。

私の尊敬する野口芳宏先生は、悩む私を見ると「よしよし。大丈夫だから。思ったとおりやってみなさい。」と、優しく語りかけてくれます。具体的な助言や指導などは、一切ありません。しかし、「先生が自分を見て、『大丈夫』と言ってくれた。だから、きっと自分は大丈夫なんだ。」と、妙に安心したことを鮮明に覚えています。こういう言葉が理屈抜きに人の心を支えるのだと、私は感じました。今は苦しいけれど、周囲には自分を見てくれる人がいる。手を差し伸べてくれる人がいる。だから、どんなことがあっても自分は歩いていける。立ち向かっていける。人間が本当の意味で強くなれるのは、そういうことへの信頼があるからではないでしょうか。

また、「教育は発達の上に成立する」とも言われています。一般的に、生後8～9か月の赤子は這うようになります。一歳を過ぎると歩き始め、一歳半ごろから言葉を話し始めるそうです。しかし、人間の発達は一律ではありません。それは学習も同じです。学習の理解は子どもそれぞれの発達によって、異なっています。だからこそ、授業についていけない子どもに対しては、根気よくその子に合う問題を出しながら支え、待つことが大切です。子どもはどんどん変わっていきます。これまで全く分からなかった分数が、ある日一つの問題が解けたことで、急に分かるようになることもあります。そんな嬉しいハプニングが実際にあるのです。「コツをつかめば後は早い。」そんな言葉を耳にすることがあります。発達とは、このコツに似ているのかもしれませんが。誰もが同じタイミングでコツをつかめるわけではありませんが、諦めずに挑戦を繰り返していけば、好機は必ずやってきます。

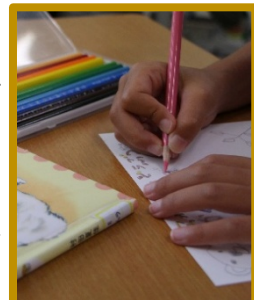


▼収穫の秋

4月から駆け抜けてきた前半戦も、間もなく終わりを迎えます。いよいよ10月からは後期のスタートです。夏の暑さも少しずつ落ち着き、ここからは、これまで積み重ねてきた努力や経験が少しずつ形となって表れてくる「収穫の秋」。

仲間と力を合わせ、火起こしや炊飯など様々な体験に挑戦した宿泊学習。読書への関心を高めようと、図書館「雄図ぴあ」と連携して取り組んだ本のPOPづくり。1・2年生は4月から継続して取り組んできた読書マラソンで合わせて300冊近くの本に触れることができました。

日々の学習や行事の中で、一人一人がまいてきた小さな種は、少しずつ実を結び始めています。後期もまた、新たな挑戦や出会いを重ねながら、それぞれの実りを大切に育てていけたらと思います。



▼よい表現にふれる、よい表現をつくる

「よい表現にふれなさい。よい表現は心を豊かにしてくれる。心が豊かになれば、よい仲間が集まってくる。よい仲間に恵まれれば、人生が豊かになる。」

↑こんな素敵なお言葉に出会いました。

先月は、ミュージカルの舞台を鑑賞し、楽しいひとときを過ごした子どもたち。今度は、いよいよ自分たちが表現する番です。10月18日（日）の学芸会に向けた取組がスタートし、校内にも少しずつ、学芸会を前にした“お祭りのような空気”が漂い始めました。

見る楽しさから、表現する楽しさへ。学芸会までの毎日そのものが、子どもたちにとって豊かな時間になってくれたらと願っています。日々挑戦を続ける子どもたちに、ぜひ温かいエールを送っていただければ幸いです。



▼よりそう姿勢が安心を生む

子どもが「学校に行きたくない」と口にしたとき、大人はつい「何があったの?」「どうして行きたくないの?」と理由を知りたくなります。しかし、子ども自身も、なぜそう感じるのかうまく説明できないことがあります。そんなときは、すぐに答えを求めることよりも、「そうなんだね」「つらかったね」と、その気持ちを受け止め、寄り添うことが大切なのかもしれません。

学校に足が向きにくくなることは、誰にでも起こり得ます。北海道教育委員会では、子どもへの関わり方や相談窓口、多様な居場所や学び方などを紹介したリーフレットや「不登校支援ポータルサイト」を公開しています。子どもの心に寄り添うためのヒントとして、ぜひご家庭でもご覧ください。（右上 QR コードからどうぞ!）



▼10月の主な予定

10月2日(金)	秋季休業	10月18日(日)	学芸会
10月5日(月)	教育相談週間(10/9まで)	10月21日(水)	読み聞かせ
10月6日(火)	視力検査(再検査は10月13日)	10月22日(木)	フッ化物洗口
10月7日(水)	避難訓練(地震)	10月27日(火)	歯みがき教室
10月9日(金)	児童総会(後期計画)	10月28日(水)	生活リズムチェック(11/3まで)
10月14日(水)	学芸会総練習	10月29日(木)	フッ化物洗口
10月16日(金)	学芸会前々日準備	10月31日(土)	西部P連・町P連研究大会



※10月1日(木)と10月8日(木)に予定していたフッ化物洗口の日程は、10月22日(木)、29日(木)に変更となりました。